

取組名称	【愛され和牛】で「いのち」を食べる を考える			団体設立後の経過年数	81年
応募取組主体名称	えんどう畜産	活動地域	北海道河東郡士幌町	応募取組の活動年数	3年
取組主体の種別	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手を中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPQ2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨

【愛され和牛】では、お肉とともに動画をお届けしている。お肉になった牛が生きた軌跡を、約3年かけて追い、HISTORY映像に編集している。経済動物の世界では、黒字が見込めるものしか生き残れない。餌代が高騰する昨今、経費に見合わない個体は処分の対象だ。そこで、このような個体を【愛され和牛】に認定し、肉となるまでのその牛の一生を動画で編集、食育活動を行いつつ、地方創生活動も行っている。「いのちを食べる」という現実を紹介し、フードロス削減を目指している。

実績の要旨

【愛され和牛】という「食育」のできるブランドを立ち上げ、地域の子供達だけでなく、全国の皆様に、牧場見学やオンラインツアーなどを通して、生産現場のいのちのリアルに触れていただいた。地元道の駅での食育イベントでは畜産に従事する現場スタッフとともに消費者の皆様と交流できる機会を設けた。農業系企業・団体様との意見交換・研修を積極的に受け入れ、学校教育機関では、食育・キャリア教育のできるイベントを開催している。

取組評価の要旨	環境への貢献	食の成り立ちを学ぶことでフードロスを削減し、地方ブランドとして盛り上げることで地産地消・国産消費推進させ、フードマイレージを削減
	社会・経済への貢献	出前授業・食育イベント・キャリア教育推進 地方の観光資源化・移住促進・インバウンド誘致
	地域資源の活用	「食」の十勝の環境を、ありのままに国内外に発信し、その雄大な自然も含めて「体験」として提供する
	普及・汎用性	消費者からは見えづらい生産現場について言及し、アニマルウェルフェアの認知拡大
	革新・ユニーク性	畜主自身が獣医師であることから、全飼育工程を自らが手掛ける。この強みを生かしてその牛の専門的な紹介に至る
	継続性	生き物である以上凸凹は必ず産まれてくる。この凹個体を消費者の笑顔に繋げるため、広報活動・イベント開催にも力を入れる

展望の要旨

農業からは縁遠い都心部に活動の幅を広げ、インバウンド誘致や移住促進を行い地方を活性化する。また、畜産業従事者のやりがいの創出・労働環境改善